

【探究型学習教材】

百人一首みくじ

－運命の和歌と出会う－

S × U K I L A M (スキラム) 連携

第10回多様な資料の教材化 WS 2025.7.30・31



宮本 淳子 東京学芸大学 (スライド1・2・4・21～23・総括)
平野 多恵 成蹊大学文学部日本文学科 (スライド3・21～23)
阿部 由美 東京学芸大学附属世田谷中学校 (スライド5～7)
南雲 修司 東京学芸大学図書館 (スライド17・24・メタデータ作成)
瀬川 結美 東京学芸大学図書館 (スライド8・資料データ作成)
宗愛子 富士見中学校高等学校専任司書教諭 (スライド11・12)
掛川 いろは 東京学芸大学学部生宮本ゼミ (スライド13～14)
高野 明彦 国立情報学研究所 名誉教授, 連想出版 (15～20)
萱島 礼香 連想出版 (スライド15～20)
中村 覚 東京大学史料編纂所 (スライド15～20)
表紙:『錦百人一首あづま織』14/63 国立国会図書館蔵 (<https://dl.ndl.go.jp/pid/2533667/1/14>) PDM

1.本教材・活動のねらい

1. 『百人一首』の和歌の意味を十分に理解し、現代語訳でできるようにする。
2. おみくじ作成などの応用的活動を取り入れることで、単なる鑑賞や訳出に留まらない学びを目指す。
3. 引いた一首が自分のための歌になるという、「おみくじ」の特徴を生かし、和歌との距離を縮め、和歌への関心を高めるきっかけとする。
4. 国語の授業後も、学校図書館との連携し、図書館での関連図書の実展示、委員会活動、Cultural JapanのSelf Museum、美術館・博物館のアーカイブ画像を活用したデジタル展示の作成に挑戦し、継続的な学習に繋げる。

2.本教材の特徴ーおみくじの教材可能性

おみくじって教材になるの？

「おみくじ」では、引いた一首の意味が、自分のためのメッセージとなるため、引いた人はその意味に関心を持つ。それによって、学習者は和歌の意味を十分に理解したいと思うようになり、和歌そのものへの興味を喚起するきっかけとなる。

3.従来の学習課題（教職現場の声・一部）

1. 和歌の表現技巧、古語の訳出の学習に時間がとられ、注釈活動で終わってしまうことが多い。児童・生徒にとって和歌が遠い存在になりがちである。
2. 教科書や指導書には、和歌学習から先の、言語活動へのつながりが書かれることは少ない。
3. おみくじは身近な存在であるが、教材化されることはさほど多くないため、扱い方がイメージされにくい。

4.授業活動案ー授業の流れ①

1. 万葉集、古今集、新古今集について教科書で学習する。

2.百人一首で発展学習

（１）占いたいことを決める。具体的に思い浮かばない場合は「いまの自分にふさわしいメッセージがほしい」という気持ちで考える。

（２）厳選した36首から運命の和歌と出会う。

（３）運命の和歌を現代語訳する（調べる）。

（４）作者について調べる。

（５）絵を良く見て、何が描かれているかを確認する。
人物の表情・動作・向き・着物の色柄・持ち物など。

4.授業活動案ー授業の流れ②

- (5) 自分がその歌からどういうメッセージを受け取れるかを考える。
- (6) 吉凶を考える。
(大吉・吉・中吉・小吉・凶・大凶)
- (7) 隣の人とワークシートを交換して、相互に鑑賞する。
- (8) 時間があれば作成したワークシートを集成し「百人一首みくじ」本を制作する。



『錦百人一首あづま織』 55／63 国立国会図書館蔵

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2533667/1/55>

PDM

5.教材案（ワークシート・記入項目例）

- 和歌
- 現代語訳（意味をわかりやすく訳す）
- 作者名
- 作者の背景（時代・人物像・代表作など）
- 絵の内容（画像挿絵の描写説明）
- 自分へのメッセージ
- 吉凶
- 開運の鍵（和歌・挿絵に関連する色・物・場所など）

6. 授業で使用する厳選36首（おすすめの和歌）

- 1 秋の田のかりほの庵の苫をあらみわが衣手は露にぬれつつ 天智天皇
- 2 春すぎて夏来にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山 持統天皇
- 7 天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも 安倍仲麿
- 10 これやこの行くも帰るも別れては知るも知らぬも逢坂の関 蝉丸
- 11 わたの原八十島かけて漕ぎ出でぬと人には告げよ海人の釣舟 参議篁
- 13 筑波嶺の峰より落つる男女川恋ぞつもりて淵となりぬる 陽成院
- 14 陸奥のしのぶもぢずり誰ゆゑに乱れそめにしわれならなくに 河原左大臣
- 15 君がため春の野に出でて若菜つむわが衣手に雪は降りつつ 光孝天皇
- 16 たち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かば今帰り来む 中納言行平
- 21 今来むと言ひしばかりに長月の有明の月を待ち出でつるかな 素性法師
- 23 月見ればちちにものこそ悲しけれわが身一つの秋にはあらねど 大江千里
- 24 このたびはぬさもとりあへず手向山紅葉の錦神のまにまに 菅家
- 25 名にしおはば逢坂山のさねかづら人にしられでくるよしもがな 三条右大臣
- 29 心あてに折らばや折らむ初霜の置きまどはせる白菊の花 凡河内躬恒
- 33 ひさかたの光のどけき春の日に静心なく花の散るらむ 紀友則
- 37 白露に風の吹きしく秋の野はつらぬきとめぬ玉ぞ散りける 文屋朝康
- 43 逢ひ見てののちの心にくらぶれば昔は物を思はざりけり 権中納言敦忠
- 47 八重葎しげれる宿のさびしきに人こそ見えね秋は来にけり 惠慶法師

- 48 風をいたみ岩うつ波のおのれのみくだけで物を思ふころかな 源重之
- 49 みかきもり衛士のたく火の夜は燃え昼は消えつつ物をこそ思へ 大中臣能宣
- 52 明けぬれば暮るるものとは知りながらなほうらめしき朝ぼらけかな 藤原道信朝臣
- 55 滝の音は絶えて久しくなりぬれど名こそ流れてなほ聞こえけれ 大納言公任
- 57 めぐりあひて見しやそれともわかぬ間に雲がくれにし夜半の月かな 紫式部
- 61 いにしへの奈良の都の八重桜けふ九重ににほひぬるかな 伊勢大輔
- 64 朝ぼらけ宇治の川霧たえだえにあらはれわたる瀬々の網代木 権中納言定頼
- 69 嵐吹くみ室の山のもみぢ葉は竜田の川の錦なりけり 能因法師
- 70 さびしさに宿を立ち出でてながむればいづこも同じ秋の夕暮れ 良暹法師
- 71 夕されば門田の稲葉おとづれて芦のまろやに秋風ぞ吹く 大納言経信
- 73 高砂の尾の上の桜咲きにけり外山の霞立たずもあらなむ 権中納言匡房
- 77 瀬をはやみ岩にせかるる滝川のわれても末にあはむとぞ思ふ 崇徳院
- 79 秋風にたなびく雲の絶え間よりもれ出づる月の影のさやけさ 左京大夫顕輔
- 81 ほととぎす鳴きつる方をながむればただ有明の月ぞ残れる 後徳大寺左大臣
- 83 世の中よ道こそなけれ思ひ入る山の奥にも鹿ぞ鳴くなる 皇太后宮大夫俊成
- 84 長らへばまたこのごろやしのばれむ憂しと見し世ぞ今は恋しき 藤原清輔朝臣
- 98 風そよぐならの小川の夕暮れはみそぎぞ夏のしるしなりける 従二位家隆
- 100 ももしきや古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり 順徳院

国語の授業以外での 言語活動案



『錦百人一首あづま織』 14／63 国立国会図書館蔵

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2533667/1/14>

PDM

7. 発展的学習活動案

授業後の活動案（百人一首学習と連携）

- 教科連携・学校図書館での展示

百人一首学習期間中、関連図書を学校図書館で展示

- 委員会活動との連携

- 図書委員が推薦本を紹介する「本みくじ」を作成

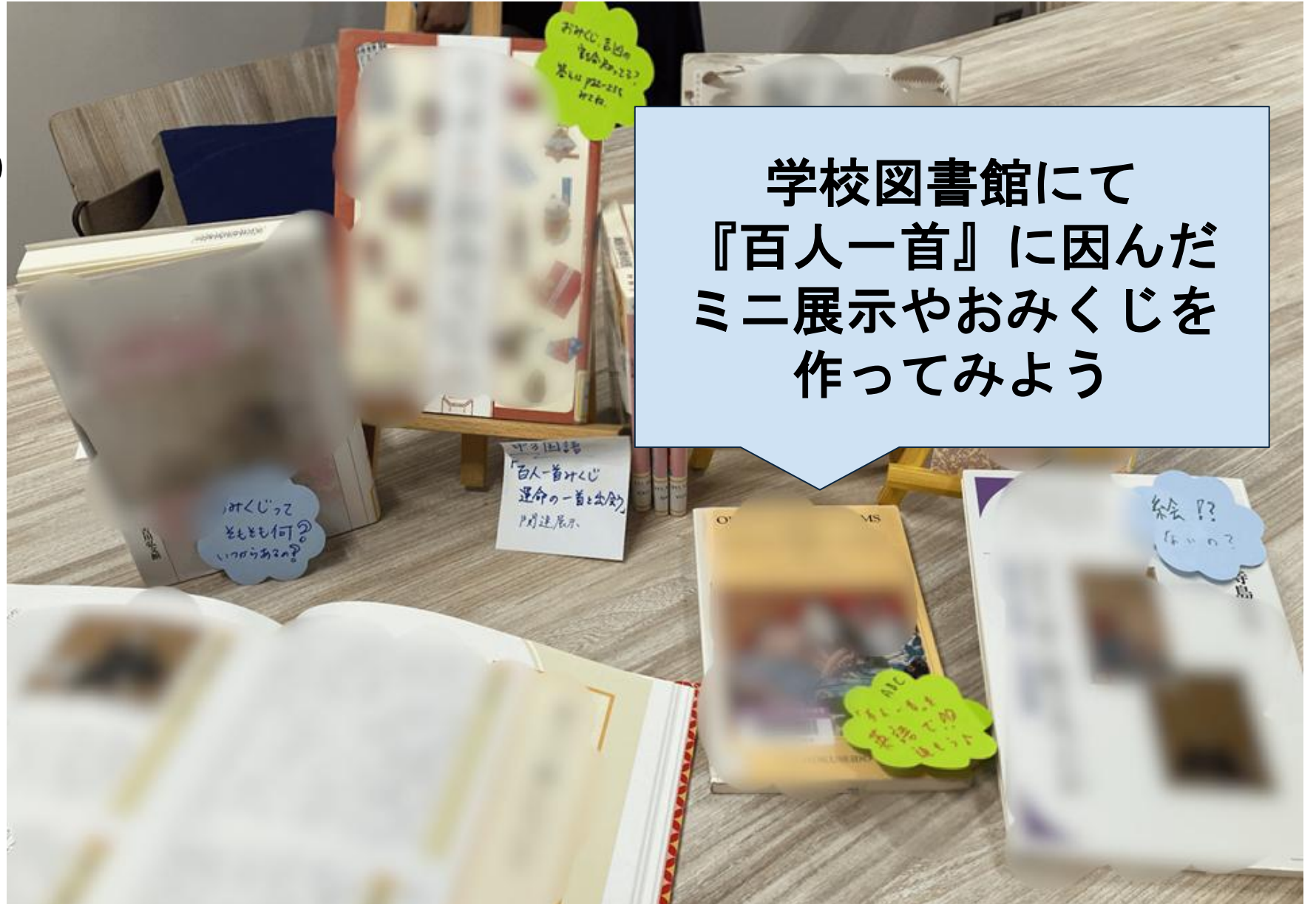
- 発展的な学習活動

百人一首に因んだ画像を用い、デジタル展示を制作（
Cultural Japanのセルフミュージアムを活用）

学校図書館の活動

例 学校図書館での 展示

- ・ 教科連携 ・ 展示
- ・ 「百人一首」に関連する図書を学校図書館で展示



図書委員会の活動

例 委員会活動との連携

・「本みくじ」の作成

中学3年生の実践授業成果物をもとに、図書委員がおすすすめ本を選び、推薦本にまつわる内容を入れた「本みくじ」を作る。



大吉

←運勢



『錦百人一首あづま織』41/63 国立国会図書館蔵
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2533667/1/41>
PDM

百人一首
いにしへの
ならの都
の八重さくら
けふ九重
にほひ
ぬるかな

昔の奈良の都で
さいた八重桜
が、今日は（今
の都である）九
重（この宮
中）で、いちだ
んと美しく咲い
ていることよ。

百人一首

訳

図書委員より

メッセージ
これまでの努力が花開き、
ますます魅力が
高まるでしょう。

ラッキー
アイテム
カラー
場所
など
〈開運の鍵〉
手紙
桜
奈良・京都

このおみくじをひいた
あなたにおすすめの本
は…

『君の臍臓をたべたい』
住野よる 双葉社
《913 ス》

表紙の桜のイラストが
印象的！

「開運・鍵」から連想される
おすすめの本 + ひとこと

「本みくじ」例

大吉

← 運勢



『錦百人一首あづま織』41/63 国立国会図書館蔵
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2533667/1/41> PDM

いにしへの
ならの都
の八重さくら
けふ九重
ににほひ
ぬるかな

百人一首

訳

昔の奈良の都で
さいた八重桜
が、今日は（今
の都である）九
重（＝この宮
中）で、いちだ
んと美しく咲い
ていることよ。

「本」みくじを
作ってみよう

事例（上側）
例 和歌・訳

「本みくじ」例

メッセージ

これまでの努力が花開き、
ますます魅力が
高まるでしょう。

ラッキー
アイテム
カラー
場所
など

〈開運の鍵〉
手紙
桜
奈良・京都

図書委員より

このおみくじをひいた
あなたにおすすめの本
は…

『君の膵臓をたべたい』
住野よる 双葉社
《913ス》

表紙の桜のイラストが
印象的！

「本」みくじを
作ってみよう
事例（下側）

例 推薦図書
請求番号

例 メッセージ
ラッキーアイテムなど

「開運の鍵」から連想される
おすすめの本 + ひとこと

【発展的学習】『百人一首』×セルフミュージアム デジタルミュージアムへの展開



<https://self-museum.cultural.jp/>

【発展的学習】『百人一首』×セルフミュージアム

セルフミュージアムの概要

Cultural JapanのSelfMuseumとは

世界中の美術館、博物館、図書館のサイトでIIIFフォーマットを用いて公開されている作品を3D空間上に配置し、ユーザが展示室内を回遊しながら作品を閲覧できるシステム。

実際に美術館、博物館、図書館に出かけることができなくても、その施設で所蔵している作品をバーチャルな場所に集めて展示することができる。今回は『百人一首』の学習に因んで、百人一首うばが絵解』の画像を素材として選定。

使い方：<https://self-museum.cultural.jp/>

【発展的学習】『百人一首』×セルフミュージアム セルフミュージアムの作り方

自分だけのミュージアムを作ることが可能です！

画像コレクション管理ツール：<https://pocket.webcatplus.jp/ja>

使い方：<https://zenn.dev/nakamura196/articles/7d6bb4cdc414c4>



生徒が作ったおみくじを展示
して相互に鑑賞するミュージ
アムも作れます

【発展的学習】『百人一首』×セルフミュージアム

百人一首うばが絵解とは？（メトロポリタン美術館）

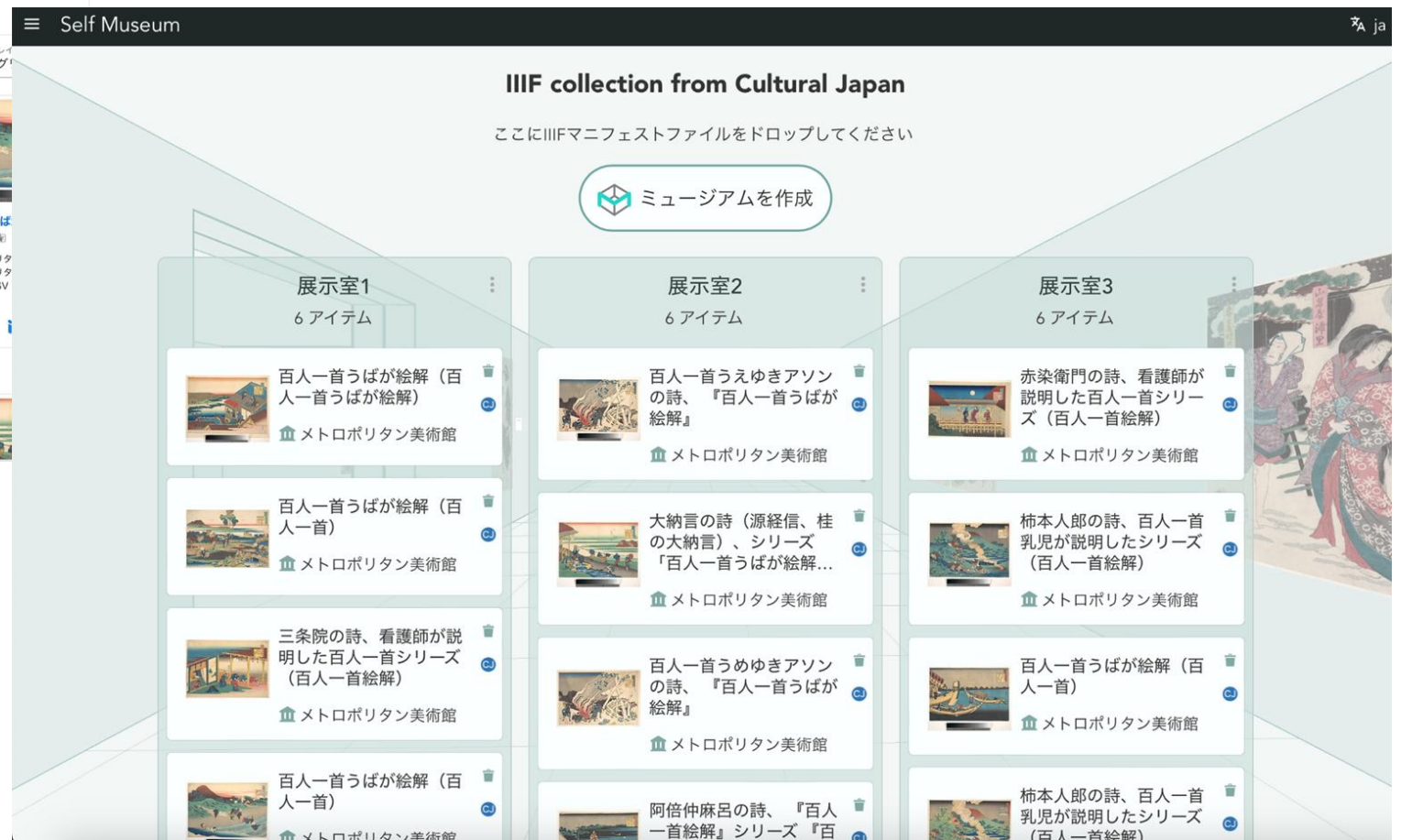
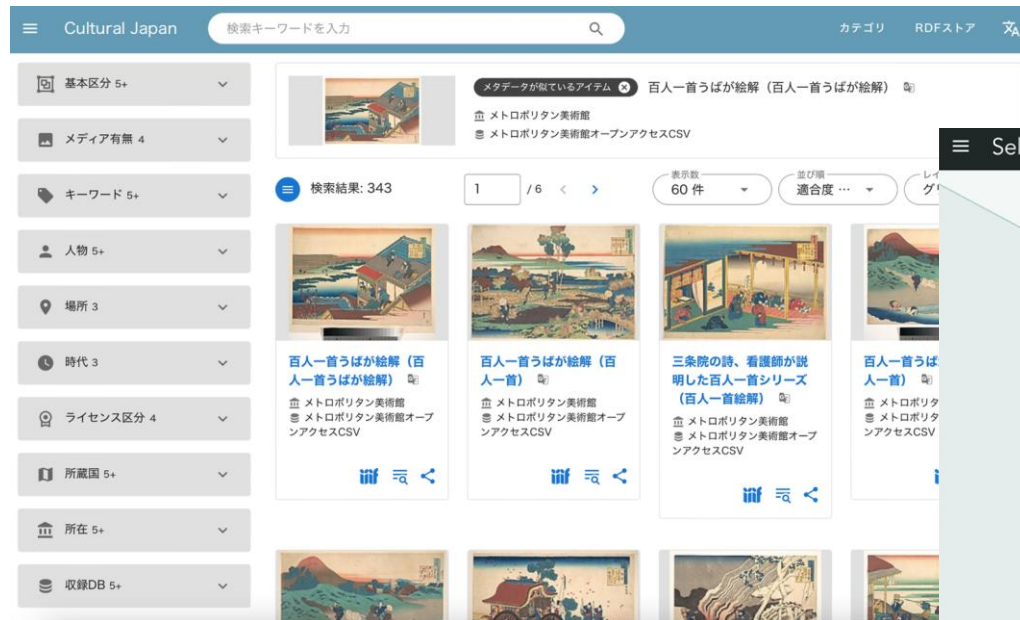
画像概要

葛飾北斎による最後の大型錦絵シリーズである「百人一首うばが絵解（うばがゑとき）」は、天保6年（1835年）北斎76歳のときに着手され、「乳母が絵解きをする」という趣旨の作品名のとおり『百人一首』の各歌の意味を絵で解説したもの。

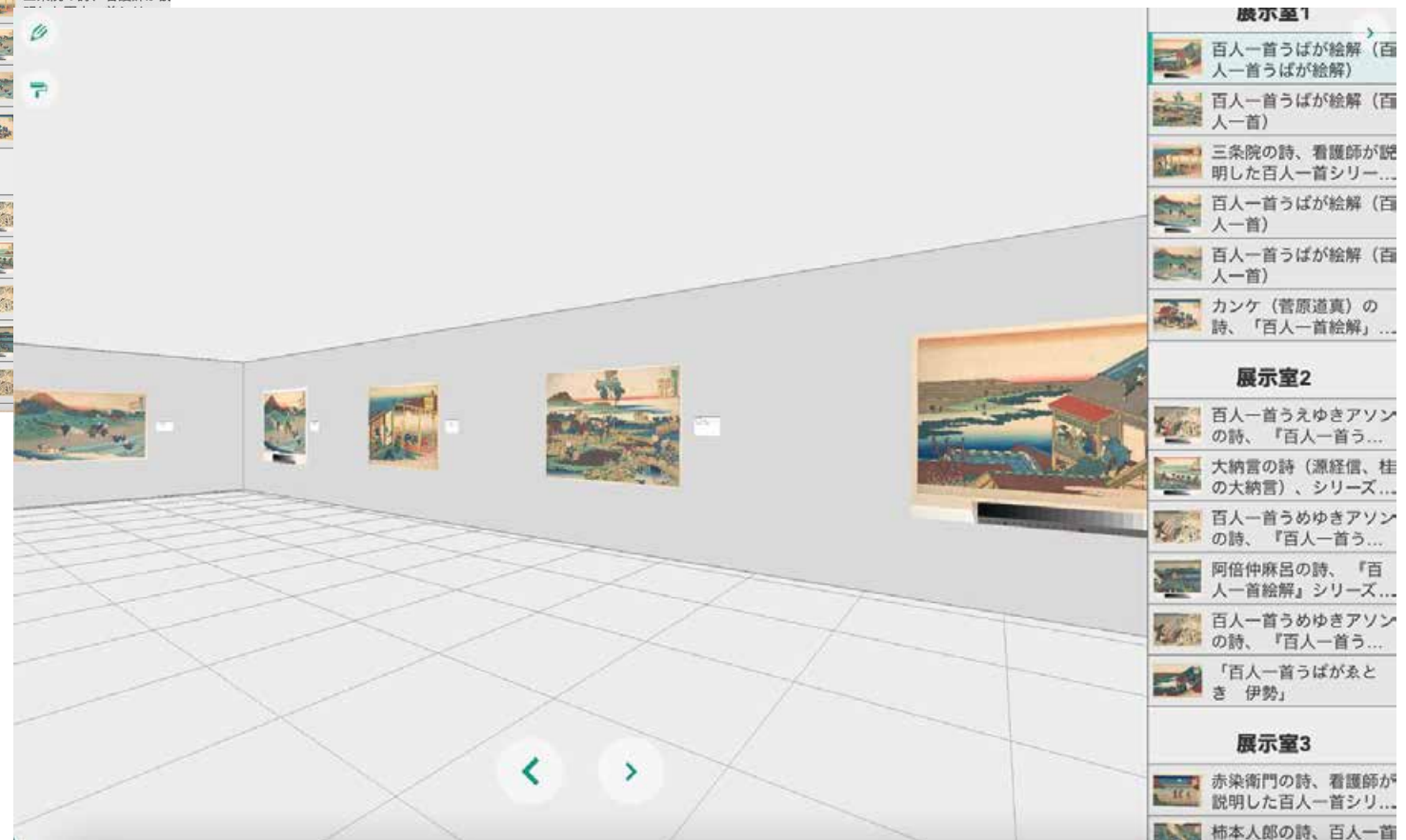
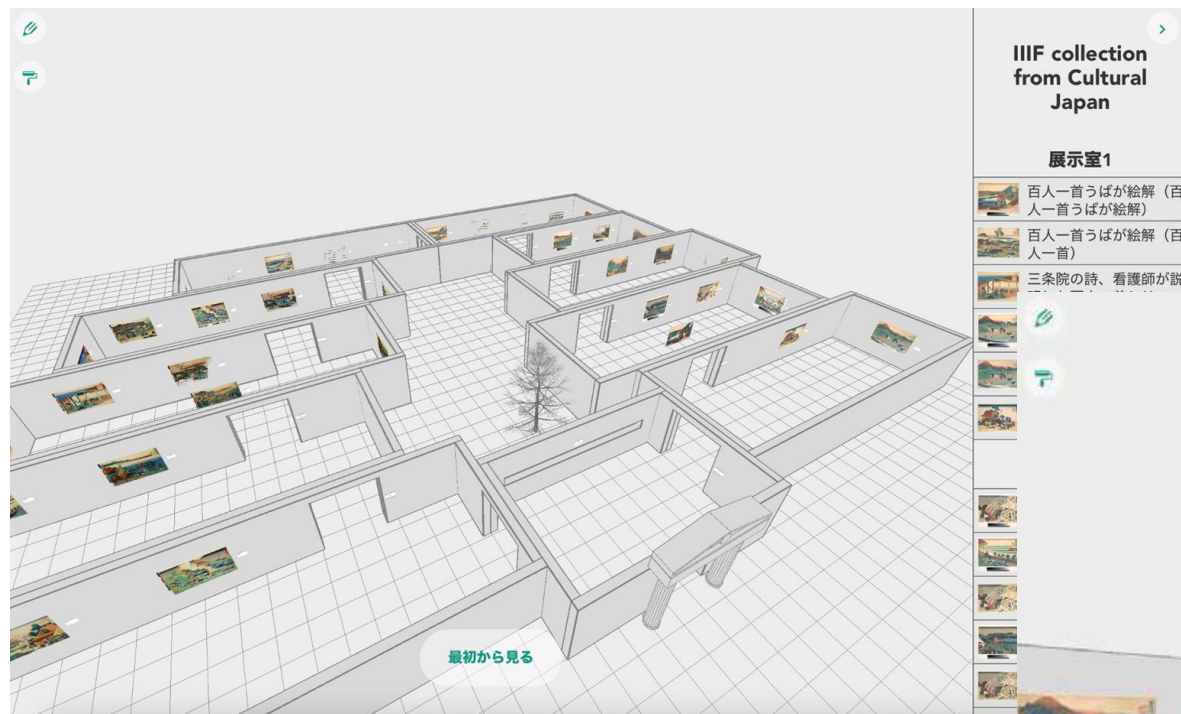
100枚組として企画されたが、27枚を版行して中断され、60枚以上の版下絵があることで知られている。歌や歌人の一般的な伝承やイメージに独自の発想を盛り込み、北斎ならではの世界観を表現した、強い個性が目立つ版画となっている。海外での北斎人気を反映するかのよう「百人一首うばが絵解」は欧米の美術館や図書館にも所蔵されており、アメリカのメトロポリタン美術館は24図31枚を所蔵している。

百人一首うばが絵解（メトロポリタン美術館）

参照資料を紹介するデジタル展示をミュージアム形式で行うことができます。



百人一首うばが絵解 (メトロポリタン美術館)



参考になりそうな資料（百人一首関係①）

- 島津忠夫訳注『百人一首』 角川文庫 1969/12
- 大岡信訳注『百人一首』 講談社文庫 1980/11
- 樋口芳麻呂校注『王朝秀歌選』 岩波文庫 1983/03
- 有吉保訳注『百人一首』 講談社学術文庫)1983/11
- 谷知子『百人一首（全）』
- （ビギナーズ・クラシックス 角川ソフィア文庫 2010
- 田淵句美子『百人一首——編纂がひらく小宇宙』 岩波新書 2024/1
- 光村webマガジン（「冬休み！ 百人一首とあそぼう」
<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/webmaga/kotoba-to-manabi/kosodate-ouen/2023-winter>

参考になりそうな資料（百人一首関係②）

- 谷知子編『百人一首解剖図鑑』（エクスナレッジ 2020）
- 渡邊 裕美子 (監修)『イラストで楽しくわかる ときめく百人一首図鑑』（ナツメ社、2024）
- 渡部泰明・平野多恵・出口智之・田中洋美・仲島ひとみ『国語をめぐる冒険』（岩波ジュニア新書 2021）（→第2章「第二章 言葉で心を知る」で百人一首を和歌占いとして読む方法を説明。）
- 天野慶『ときめく恋の百人一首』（幻冬舎、2017）（→恋にまつわる名歌30首を厳選。札で遊べる恋占い付き）
- 日本文学アクティブラーニング研究会編『古典を学んでよかった！と思える探究型授業のつくりかた 「文学」「国語」のためのアクティブラーニング』（文学通信 2025）

参考になりそうな資料（おみくじ・和歌占い関係）

中村公一『一番大吉！おみくじのフォークロア』（大修館書店）1999/12

平野多恵『おみくじの歴史』（吉川弘文館）2023/12

平野多恵『おみくじの歌』（笠間書院）2019/5

平野多恵『おみくじのヒミツ』（河出書房新社）2017/12

鎚木麻耶『ニッポンのおみくじ 日本全国232種のおみくじを引く』（グラフィック社）2017/10

平野多恵『歌占カード 猫づくし』（夜間飛行）※無料おためしサイト

<https://pr.yakan-hiko.com/utaura/>

平野多恵『カードで引く 千年和歌みくじ』（KADOKAWA）2024/12

平野多恵『くずし字がわかる あべのせいめい歌占』（柏書房）2024/12

※開運☆せいめい歌占（無料サイト） <https://ssl.japanknowledge.jp/utaura/>

使用画像

- 渡辺寛 編 ほか『錦百人一首あつま織』, 雁金屋義助, 安永4 [1775]. 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/2533667> (参照 2025-08-08)
(本スライドでは14／63・44／63コマ目を使用致しました)
- 『百人一首うばが絵解』等 (メトロポリタン美術館所蔵 PD)
<https://www.metmuseum.org/art/collection/search?q=%22Hyakunin%20isshu%20uba%20ga%20etoki%22%20and%20%22Hyakunin%20isshu%20ubaga%20etoki%22> (参照 2025-08-08)
- メタデータ、サムネイル画像及び作品画像の利用に当たっては、各IIF Manifestファイルの利用条件をご確認ください。またデータの利用に当たっては、ジャパンサーチの「[データ利用について - お願い](#)」等を、SelfのMuseumの活用にあたってはCultural Japanの使い方<https://self-museum.cultural.jp/>や免責事項をご参照ください。